

消防計画作成（変更）届出書

(1) 年 月 日		
京都市 (2) 消防署長 殿 (3) 防火 管理者 防炎 (4) 住 所 _____ 氏 名 _____ (3) 防火 (5) 別添のとおり、 防炎 管理に係る消防計画作成（変更）したので届け出ます。		
管理権原者の氏名 （法人の場合は、名称及び代表者氏名）	(6)	
防 火 対 象 物 又は _____ の所在地 建築物その他の工作物	(7)	
防 火 対 象 物 又は _____ の名称 建築物その他の工作物 （変更の場合は、変更後の名称）	(8)	
防 火 対 象 物 又は _____ の用途 建築物その他の工作物 （変更の場合は、変更後の用途）	(9)	令別表第1 （ (10) ）項
その他必要な事項 （変更の場合は、主要な変更事項）	(11)	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「防火 防炎」の横書きの文字については、該当しない文字を横線で消すこと。
- 3 ※印の欄は記入しないこと。

消防計画作成（変更）届出書 記入要領

※ 不明な箇所は、消防署に届け出される際、窓口で確認のうえ記入していただいても構いません。

番号	項目	確認事項
(1)	年月日	届出書の提出年月日を記入します。
(2)	宛先	建物を所轄する消防署長宛てとします。(例： <u>下京区</u> 内の場合 は「京都市 <u>下京</u> 消防署長」宛てになります。)
(3)	防火・防災	「防火」又は「防災」のうち、該当しない文字を横線で消します。 例：「 防火 防災 」
(4)	住所・氏名	防火管理者（又は、防災管理者） <u>個人</u> の住所、氏名を記入します。
(5)	作成（変更）	「作成」又は「変更」のうち、該当しない文字を横線で消します。
(6)	管理権原者の氏名	当該事業所の管理権原者の氏名を記入します。法人の場合は、 法人の名称及び代表者の職・氏名を記入します。
(7)	所在地	当該建物の所在地を記入します。
(8)	名称	1 当該建物の名称を記入します。 2 名称を変更した場合は、変更後の名称を記入します。 3 テナントの場合は、建物名称を記入し、入居する階とテナントの名称を（ ）で併記します。 (例：「〇〇ビル（3階 居酒屋△△）」)
(9)	用途	1 建物の用途を記入します。 例：「インターネットカフェ」、「事務所」、「複合用途」 2 テナントの場合で、建物の用途が「複合用途」の場合は、 テナントの用途を併記します。 (例：「複合用途（物品販売店）」)
(10)	令別表第1	1 前(9)の欄に記載した建物の用途を、消防法施行令別表第1 に掲げる用途区分及び項区分に従い記入します。 2 テナントの場合で、建物の用途が「複合用途」の場合は、 建物全体の用途（16項イ又はロ）を記入し、テナントの用途 を併記します。 (例：「(16) 項イ（4項）」)
(11)	その他必要な事項	1 変更の届出の場合は、主な変更事項について記入します。 (例：「人事異動による変更」、「改装に伴う変更」) 2 項目にない事項で特に必要な事項があれば記入してください。